

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域と共に暮らす為、積極的な参加交流を期待したい	施設の行事や運営推進会議などへの地域の方々の参加の呼びかけを行う。 ボランティアの積極的な導入。 散歩、外出などの機会を増やす。	施設の行事や運営推進会議などの機会に案内書を配布し参加を呼びかけたり、定期的に施設紹介の新聞を配布し理解して頂いたり、ボランティアの募集を呼びかける。定期的なボランティアの受け入れや家族の訪問などの働きかけなどを行い、外出困難な利用者様との交流の場を作る。又その際、利用様手作りのプレゼントなどを渡す。気候や体調を見ながら近隣の散歩や買い物など日常的に外出の機会を作っていく。地域行事への参加にむけ各関係者の方などにも働きかけて行く。法人内の他施設への訪問やデイサービスの利用者様と交流する機会を作る。	12ヶ月
2		食事は生活の中で重要な部分をしめている。一部の職員でもよいので、入居者と同じ食事を一緒に楽しく食べることを望みたい。	楽しい雰囲気の中でゆったりと自分のペースで食事をして頂く。	職員が同じテーブルに座り、話題を提供したり音楽を流したりしながらゆったりと食事ができる雰囲気を作る。定期的にハンバーガー、サンドイッチ、お弁当等出前や購入した食品、利用者様と一緒に作るなどスペシャルランチを開催し、職員も一緒に食事する。職員に昼食希望者を募り同じ食事を食べる。手作りおやつと一緒に作る。	12ヶ月
3		長い時間を居間で過ごす方には、気分や体位を変え、居心地良く過ごせる場を確保し、よりきめ細かなケアができるような工夫を願いたい。	楽しく安心して、穏やかに過ごして頂けるようリビング内の環境を整え、興味を持った事を選んで取り組めるような生活を目指していく。長時間同じ姿勢で過ごす事のないように気を配る。 過ごす場所に関して選択肢を増やす。	それぞれ個々に興味ややりがいのあるような役割を見つけていく。職員や他の利用者様との会話の場を設けたり、歌や運動などのレクリエーションなども取り入れていく。全員でできるものにこだわらず、ご自分で選んで取り組む事のできる(ぬり絵、雑誌、新聞等)環境を常に整えておく。臥床して頂く方にはゆったりとした音楽を流して孤立感を防ぎ体位交換等にも気を配る。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。